

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム ちくし永岡の里

目標達成計画書

作成日: 平成 27 年 11 月 25 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域とのつきあい	地域の行事や活動には利用者と職員が参加しているが、ホームに地域の方が来訪されることが少ないので、地域の方が訪問しやすい環境を整えていく。	利用者の重度化が進むと外出の機会も少なくなるので、ホームに地域の方やボランティアが、訪問できるように取り組み、小、中学校の体験学習の受け入れや、保育園、幼稚園との交流を計画し、開放感のあるグループホームを目指していく。	12ヶ月
2	10	運営に関する利用者、家族等意見の反映	家族の面会や行事参加が少ないので、家族が行事に参加しやすい日時を聴いて、それに合わせて開催し、ホームの現状や利用者の暮らしぶりを理解して貰い、職員と信頼関係を築いてもらい、なんでも話せる環境を整えていく。	家族が交流できる家族会を立ち上げ、家族とホームの関係づくりと、家族同士の話し合う機会を設け、家族同士の悩みや心配事を相談し合い、家族同士の信頼関係を築き、利用者の生きる力に繋げていく。	12ヶ月
					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。